

## まとめの学期がスタートしました！

子どもたちは充実した冬休みを終え、元気な顔で10日の始業式に臨んでくれました。事故や大きなケガもなく、子どもたちが健康で新学期を迎えることができ、ほっとしました。

3学期はまとめの学期であるとともに、次の学年に向けての準備の時でもあります。3学期は登校日が53日（6年生は49日）しかありません。とっても短い学期ですが、終わるときには、「がんばった！」「よかった！」とみんなと言えるようにしたいものです。また、6年生は4月から中学生になります。5年生は加美小のリーダーになります。全員が新しい学年にステップアップするために、3学期も「みんなで頑張ろう」という話を子どもたちにしています。みんながなかよく生活すること、勉強をがんばること、あいさつをがんばることを目標に掲げました。ポイントはやる気です。人は優しくされると優しくなれます。また、がんばる人を見ていると自分もがんばれます。だからこそ、一人一人みんながやさしい気持ちでやる気をもってがんばることが大事です。3学期の目標を胸にそれぞれの学年のがんばりを私たち教職員が全力でサポートしていきます。

また、3学期も学校支援ボランティアの方たちに指導や支援で入っていただく予定になっています。1月末には老人会の皆さんによる昔の道具体験があります。2月からは読み聞かせもまた始まります。図書室の壁面飾りも定期的に変えてくださっています。さらに、体育指導コーディネーター事業で、ラグビーやサッカーを専門家の先生に指導していただくことになっています。3学期も子どもたちがさまざまな生きた体験をさせていただけることに、心から感謝いたします。地域や保護者の皆様の力をお借りしながら心豊かな子どもたちを育てていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

学習環境を少しずつ整備しています。

1. 2年教室がLEDで明るくなりました。



★必読図書の取組を継続しています。

完読した学年もありますが、2月末をめざしてしっかり本を読みましょう。

チャレンジ 必読図書！

### ◆◆1月の多読賞◆◆

\*1月25日まで

- 1年 内田 怜奈さん
- 2年 萩原 幸一さん 藤原 汐李さん
- 3年 後山 愛菜さん 東條 大空さん  
花房 陽希さん
- 4年 小野 結子さん 三森 未優さん
- 5年 大賀ののかさん
- 6年 桑元 優大さん

よくがんばって本を読みました。

## ☆☆1月の行事より☆☆



### 書写指導 17日(火)

3年生の書写指導の3回目です。書き方の復習をした後、清書に取り組みました。中心を意識すること、始筆の向きや位置の取り方など注意しながら書きました。その日仕上げた最高の1枚を柴原先生に見ていただき、一人一人いいところを褒めていただきました。「筆順がよくわかりました。」「字が上手になりました。」「書写は苦手だったけど、教えていただいて、書写が好きになりました。」という感想を子どもたちが積極的に発表していました。最後に指導して下さった柴原先生に3年生全員で歌のプレゼントをし、感謝の気持ちを表しました。



### 人権プランター 18日(水)

3年生がパンジーの花をプランターに植えました。そのプランターにステキな言葉がさしてあります。「こころくん」のイラストとことばをアレンジした3年生の「こころくん」です。「朝ごはん食べた?」「友だちとなかよくしてる?」など、自分で考えたことばを書きました。玄関が人権のカードでいっぱいになっています。やさしい気持ちになれる空間です。

### クラブ見学 19日(木)

来年度から始まるクラブに向けて、3年生がクラブ見学をしました。イラスト・パソコンクラブのカレンダーづくりや調理・手芸クラブの白玉づくり、科学・工作クラブのブーメランづくり、室内スポーツはバレーボール、屋外スポーツはサッカーやキックベースを見ました。4年生になったら、また新しい学習が始まるということで、3年生はワクワクしながらミニ体験や見学をしました。



ブーメランを飛ばしました



### 九九検定終了

2年生が取り組んでいた九九検定が終了しました。九九をしっかりと覚えて全員が合格しました。5、6年生や読み聞かせボランティアの方、職員室にいる先生方に協力していただきながらがんばりました。7の段で苦労しましたが、何度も挑戦し合格までがんばりました。忘れないようにみんなで復習しましょう。2年生からお礼の手紙をもらいました。うれしいです。

## ★★教職員の異動についてお知らせ★★

○4月から少人数教室で算数指導をしておりました牛房み美先生が、出産準備のため12月末で退職いたしました。後任として、1月11日から藤本有美先生が着任しています。若さと笑顔でがんばっておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



藤本先生

1月14日(土)の 久米郡PTA連合会講演会から

## 「言葉のちから 無限大！」

講師：岩崎 由純 氏（日本ペップトーク協会 代表理事）

★親の意識を変えてみませんか？

### ★ペップトークとは・・・

選手、生徒、部下などを励ますために監督やコーチなど指導者が試合（本番）前に使う「激励のショートスピーチ」です。親が子どもを励ますときにも有効です。普通の頑張りを知っている人だけができます。

#### ペップトークの特徴

短く  
わかりやすく  
肯定的な  
魂を揺さぶる  
人をその気にさせる言葉

### ◇言葉選びひとつで聞く側のイメージが変わる。

人は言葉を聞いて、理解してイメージします。そのため、ミスをイメージする言葉、してほしくない言葉、ネガティブな言葉は使いません。目的語を先に言う日本語の特徴により、「ミスするな」と言われると、「ミス」をイメージしてしまいます。相手にはポジティブな言葉で「してほしい」「なってほしい」ことを伝えます。

#### 言葉の変換例

Don't	Do
うそをつくな	→ 正直に話そう
さぼるな	→ しっかりやろう
ぼけっとするな	→ 集中しよう
走るな	→ 歩こう

#### こんな言葉を使っていませんか？

「どうしてわからないの?!」（否定質問）は



「どこまでわかったの?」（肯定質問）に

### ◇できている部分を認め、問題点・欠点・弱点・失敗などは改善点として受け止める。

#### 改善のステップ

#### 重要ポイント

#### 改善点をクリアしたときにほめる

- ①自分で考える    ②誰かと考える    ③プロに学ぶ

わかる感（状況把握）→できる感（解決できる）→やるぞ感（意味があり、やろうと思える）

### ◇言葉は考え方を变える → 考え方は行動を变える

#### 水のような言葉

子どもの心には、悪い言葉もいい言葉も砂に吸い込まれる水のようにしみこむ。その水が子どもの心の幹を育てる。（金盛浦子さんの言葉）

### ◇セルフペップトークを！

自分に対して意識的に良い言葉を選んで言い続けることで、意識や心のあり方を変えることができる。

例：「克てる 勝てる 絶対勝てる!」「できる、できる、できる!」

岩崎先生のセルフペップトーク：優言実幸（優しい言葉でみんなが幸せになる）